

平成30年8月8日
J A 営農支援課

斑点米カメムシ類多発注意

本年は県病虫害防除所から斑点米カメムシ類の発生が「やや多い」と発表されておりますが、8月1日にJ A 営農支援課でもA地区～H地区を各1点ずつすくい取り調査したところ、ほとんどの地区で平年の2倍程度多く確認されました。発生の内訳では「アカヒゲホソミドリカスミカメ」が全体の48%、「アカスジカスミカメ」が同39%、「オオトゲシラホシカメムシ」が同13%と、「アカヒゲホソミドリカスミカメ」が多い状況となっております。

今後、出穂～乳熟期を迎えるにあたり警戒が必要となりますので、つぎにより対策及び防除に努めてください。

また、さらに詳しい情報を知りたい方は営農支援課までお問い合わせください。

対 策

- ① 圃場内にヒエ、ホタルイが残草している場合は早急に抜き取る。
- ② 出穂10日後頃に1回目の薬剤（スタークル、キラップ等）を散布。
「たつこもち」散布適期：8月12日頃
「あきたこまち」散布適期：8月16日頃
「きぬのはだ」「ときめきもち」等晩生品種：8月19日頃が目安
- ③ 上記薬剤散布後、速やかに草刈り（薬効があるうちに圃場内へ追込む）。
- ④ 上記薬剤散布から2週間を目途に2回目の薬剤（スタークル、キラップ等）を散布。

防除薬剤

- ・スタークル…[粉剤DL] 3kg/10a、[液剤10] 1,000倍で60L/10a
[液剤10] 8倍で800ml/10a(無人ヘリ)
- ・キラップ…[粉剤DL] 3kg/10a、[フロアブル] 2,000倍で60L/10a
[フロアブル] 16倍で800ml/10a(無人ヘリ)